

京都北都信金舞鶴港支店

事業性融資、上期10億円

取引先数減少を反転



田中 支店長

【大阪】京都北都信
用金庫舞鶴港支店(田
中誠支店長)職員10人
うち女性3人。パート
1人は、取引事業先数



が減少傾向を続けてい
たなか、融資拡大に挑
み、2015年度は6
先純増させた。16年度
上期も事業性融資に注
力し、22件・10億37
33万円を実行した。
舞鶴港を含む西舞鶴
市街の西北部がテリト
リー。人口約6500
人で毎年約1000人減
少する傾向にあり、65
歳以上が35%を占め
る。民間事業所数は3
20先あるが、本社機
能のない営業所が多

モノづくり補助金が採択
された森本隆・DIY
STYLE社長(右から
2人目)とフローリング
開発について聞く田中支
店長(右)、松下泰明係
長(左から2人目)、柴
田宏係長(9月28日)

く、推進対象先は15
7先に絞られる。77先
(16年3月末)が取引
先。渉外は3人の陣容
だが、取引のあるなし
にかかわらず全ての対
象事業先を、年に3回
は訪問することを行動
目標とした。

「支店の方針は、

『お客様に喜んでいた
だくことに喜びを!』
とし、1先ごとに何を
求めているのかを意識
して取り組んだ」(田
中支店長)。企業のラ
イフサイクルに応じた
個別問題に関する情報
の収集と、財務資料を
基に店内で営業担当者

と役員、支店長が分析。
融資提案の場合は、支
店長の専決権がある証
書貸付「スピーディー
!」や当座貸越「スモ
ールカードローン」を
紹介した。ものづくり
補助金のニーズが見込
まれる先へは、積極的
に関与。申請書提出ま

で手伝った。2先が申
請し、両社とも採択が
決定した。既存先フォ
ローと新規開拓を心が
け、今年度も取引先数
増に取り組む。
16年8月末業況は預
金143億7千万円、
貸出金62億6200万
円。